

令和7年度版
千曲市公共施設個別施設計画
消防施設等編



令和7年3月
長野県千曲市

— 目 次 —

1. 計画策定の背景、目的と位置付け	
(1) 計画策定の背景と目的	1
(2) 計画の位置付け	1
2. 計画対象施設、計画期間	
(1) 対象施設	2
(2) 計画期間	3
3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題	3
4. 対策の優先順位の考え方と施設評価	
(1) 優先順位の考え方	4
(2) 施設評価	4
5. 個別施設の状態等（基礎調査）	
(1) 劣化度・老朽化度調査	5
6. 対策内容と実施時期（実施計画）	
(1) 保全に関する基本方針	5
(2) 工程表	6
(3) 対策費用	6
7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて	6

1. 計画策定の背景、目的と位置付け

(1) 計画策定の背景と目的

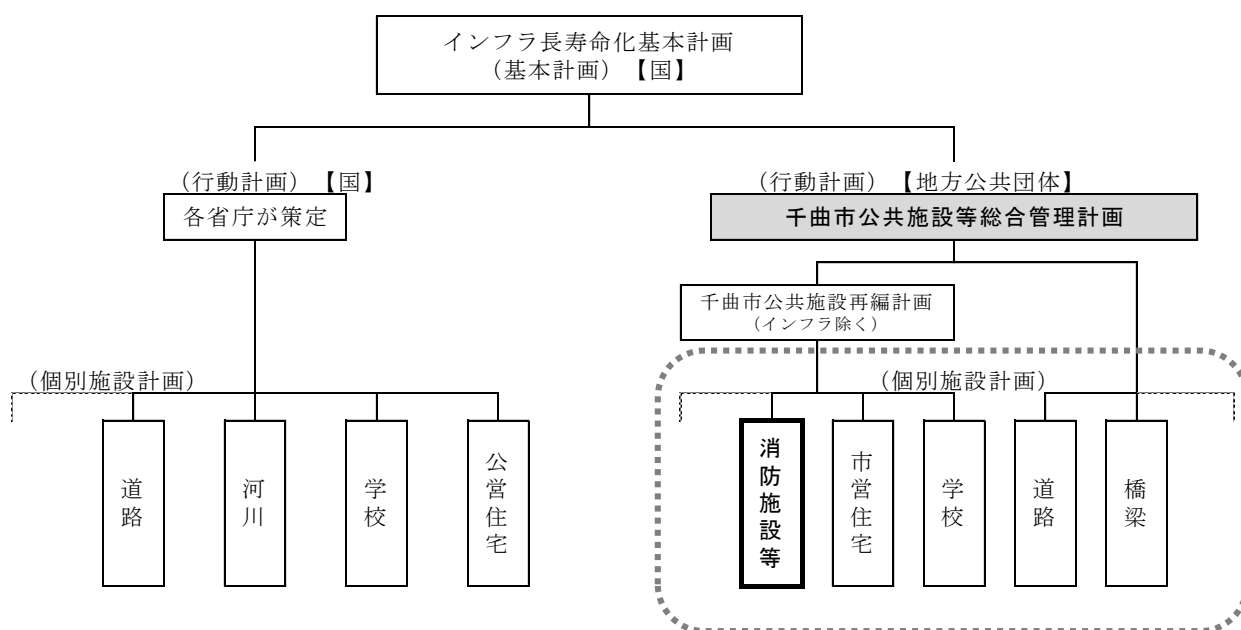
公共施設等の長寿命化対策については、平成 25 年 11 月に国において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、平成 26 年 4 月に地方公共団体においても公共施設等総合管理計画を策定するよう求められました。

本市においても、公共施設等の総合的かつ計画的な施設の維持管理を進めるうえでの基本的な方針として「千曲市公共施設等総合管理計画」を平成 28 年 3 月に策定しました。

「千曲市公共施設個別施設計画 消防施設等編」は、「千曲市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、個別施設ごとの維持管理・更新等の対策の内容や実施時期などをまとめた計画として策定するものです。

(2) 計画の位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、本市における公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針として策定した「千曲市公共施設等総合管理計画」を最上位計画とし、総合管理計画と本計画とを橋渡しする「千曲市公共施設再編計画」を上位計画とします。



2. 個別施設計画の対象施設、計画期間

(1) 対象施設

本計画は、本市が所有する公共施設のうち、以下の消防施設等を対象とします。

No.	施設名	建築年月	経過 年数	耐用 年数	主構造	延床面積 (㎡)	備考
1	第3分団器具置場	H16(2004).1	21年	15年	W	113.44	
2	倉科地区コミュニティ消防センター	H11(1999).3	26年	24年	W	116.80	
3	戸倉コミュニティ消防センター	H2(1990).12	34年	24年	W	108.74	
4	更級消防コミュニティセンター	H4(1992).3	33年	24年	W	121.97	
5	力石分団詰所	H5(1993).12	31年	24年	W 一部RC	106.84	
6	温泉自動車班コミュニティ消防センター	H14(2002).7	22年	24年	W 一部RC	134.15	
7	南部自動車班コミュニティ消防センター	H元(1989).10	35年	24年	W 一部RC	115.94	
8	防災用品等備蓄倉庫	H7(1995).12	29年	31年	S	469.44	
9	第2分団詰所	R4(2022).3	3年	24年	W	124.22	R4.3:新設

※経過年数…令和7年4月1日現在

※耐用年数…「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き(平成26年9月30日 総務省事務連絡)別紙3」及び「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)」により設定

※主たる構造…RC:鉄筋コンクリート造、S:鉄骨造、W:木造



(2) 計画期間

本計画の期間は、令和 3(2021)年 4 月から令和 13(2031)年 3 月までの 10 年間とします。

3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題

【第 3 分団器具置場】

森・倉科地区を管轄する第 3 分団森班の詰所機能を有しており、森地区のほぼ中央に配置されていることから、出動や団員参集に際して良好な立地条件であり、地域の防災拠点となる消防施設です。

当分団には、女性団員が在籍しているため、女性団員専用スペースの確保が課題となっています。

【倉科地区コミュニティ消防センター】

森・倉科地区を管轄する第 3 分団倉科班の詰所機能を有しており、倉科地区のほぼ中央に配置されていることから、出動や団員参集に際して良好な立地条件であり、倉科公民館と隣接しており地域の防災拠点となる消防施設です。

当分団には、女性団員が在籍しているため、女性団員専用トイレやスペースの確保が課題となっています。

【戸倉コミュニティ消防センター】

戸倉地区を管轄する第 8 分団の戸倉自動車班と上町・上仲町班の 2 班の詰所機能を有しており、国道沿いのためアクセス性も高く、出動や団員参集に際して良好な立地条件であり、地域の防災拠点となる消防施設です。

建設から 33 年を経過していることから老朽化が進んでおり、計画的な補修が必要となっています。

【更級消防コミュニティセンター】

更級地区を管轄する第 9 分団の羽尾 4 区班の詰所機能を有しており、主要道路沿いのためアクセス性も高く、出動や団員参集に際して良好な立地条件であり、地域の防災拠点となる消防施設です。また、地域の会議等にも利用されています。

建設から 32 年を経過していることから老朽化が進んでおり、計画的な補修が必要となっています。

【力石分団詰所】

上山田地域の力石地区を管轄する第 12 分団力石班の詰所であり、力石地区のほぼ中央に位置し、出動や団員参集に際して良好な立地条件であり、地域の防災拠点となる消防施設です。

建設から 30 年を経過していることから老朽化が進んでおり、計画的な補修が必要となっています。

【温泉自動車班コミュニティ消防センター】

上山田地域の北部地区の主に上山田温泉地区を管轄する第 11 分団温泉自動車班の詰所であり、上山田温泉街のほぼ中央に位置し、出動や団員参集に際して良好な立地条件であり、地域の防災拠点となる消防施設です。また、地域の会議等にも利用されています。

地域会議等の利用もあるため、他の消防センターより利用頻度が高く計画的な補修が必要と

なっています。

【南部自動車班コミュニティ消防センター】

上山田地域の南部地区を管轄する第 12 分団南部自動車班の詰所であり、上山田地区のほぼ中央に位置し、出動や団員参集に際して良好な立地条件であり、地域の防災拠点となる消防施設です。

建設から 34 年を経過していることから老朽化が進んでおり、計画的な補修が必要となっています。

【防災用品等備蓄倉庫】

千曲市役所から近く、非常時に備え、土のうや水槽等の防災用品の備蓄倉庫であり、災害時の防災拠点となる施設です。

建設から 28 年を経過していることから老朽化が進んでおり、計画的な補修が必要となっています。

【第 2 分団詰所】

雨宮・土口・生萱地区を管轄する第 2 分団の詰所であり、出動や団員参集に際して良好な立地条件であり、地域の防災拠点となる消防施設です。

令和元年東日本台風により浸水被害を受けた旧詰所を、消防活動を円滑かつ安全に行えるよう、令和 3 年度に浸水被害の危険性の少ない場所に移設しました。

4. 対策の優先順位の考え方と施設評価

(1) 優先順位の考え方

器具置場、消防コミュニティセンター、詰所については、地域の防災拠点施設のため、利用者の安全面を最優先に考え、建物の経過年数、老朽化の状況などを調査・検討し、限られた財源の中で適切に維持管理を実施していきます。

(2) 施設評価

建物の経過年数、耐震性から、建物の劣化状況を調査するとともに、定期点検を実施し、不具合や危険個所の早期発見に努め、利用者の安全対策を図ります。

5. 個別施設の状態等（基礎調査）

（１）劣化度・老朽化度調査及び結果

施設状況の的確な把握、改修等の時期を検討するため、目視による施設の劣化状況を調査し、結果をまとめました。

	屋根	外壁	内部仕上げ	機械設備	電気設備
第3分団器具置場	○	○	○	○	○
倉科地区コミュニティ消防センター	△	△	△	○	△
戸倉コミュニティ消防センター	○	△	○	○	△
更級消防コミュニティセンター	○	△	△	○	○
力石分団詰所	△	△	△	△	△
温泉自動車班コミュニティ消防センター	○	○	○	○	○
南部自動車班コミュニティ消防センター	○	○	○	○	△
防災用品等備蓄倉庫	○	○	○	○	○
第2分団詰所	○	○	○	○	○
○…問題なし △…早急に対応する必要はないが、段階的に修繕が必要 ×…早急な対処が必要					

6. 対策内容と実施時期（実施計画）

（１）保全に関する基本方針

消防施設等は地域防災の拠点施設として設置されています。その機能を生かし消防団活動、地域防災の拠点施設として機能を果たすよう施設の修繕等を計画的に実施し、劣化等の進行を遅らせるとともに利用者の安全に努め長寿命化を進めていきます。

倉科地区コミュニティ消防センターについては、土砂災害警戒区域内に建設されており、分団管轄内には、第3分団器具置場とともに2箇所の詰所が存在しています。

今後、消防団員減少に伴う分団再編等の情勢を含め、再編の方向性等について研究していきます。

(2) 工程表

施設名	建築 年度	耐用 年数	計画期間（年度） 上段：対策内容 下段：対策費用（単位：千円）											対策費 用合計	対策により期 待される効果
	経過 年数	目標使 用年数	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030			
第3分団器具置場	H15	15												0	現状維持
	21	40													
倉科地区コミュニ ティ消防センター	H10	24	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討	統合を 検討	統合を 検討		0	延床面積縮減
	26	40													
戸倉コミュニティ 消防センター	H2	24												0	現状維持
	34	40													
更級消防コミュニ ティ消防センター	H3	24												0	現状維持
	33	40													
力石分団詰所	H5	24												0	現状維持
	31	40													
温泉自動車班コミュ ニティ消防センター	H14	24												0	現状維持
	22	40													
南部自動車コミュ ニティ消防センター	H1	24												0	現状維持
	35	40													
防災用品等備蓄倉庫	H7	31		修繕										737	現状維持
	29	60		737											
第2分団詰所	R3	24	更新											52,602	現状維持
	3	40	52,602												
対策費用合計			52,602	737	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,339	

※令和3年度(2021年度)から令和5年度(2023年度)は決算額、令和6年度(2024年度)は決算見込額、令和7年度(2025年度)は予算額、令和8年度(2026年度)以降は計画(概算)額

(3) 対策費用 (R3～R5:決算額、R6:決算見込額、R7:当初予算額、R8以降:概算額)

【防災用品等備蓄倉庫】

R4(2022)年度: 737 千円 天井照明 LED 交換 (495 千円) / シャッター修繕 (242 千円)

【第2分団詰所】

R3(2021)年度: 52,602 千円 改築工事

その他の費用については、今後の施設の状況により、詳細な費用を算出していきます。

7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

本計画の進行管理は、所管課である危機管理防災課が行います。危機管理防災課は、消防施設等の劣化状況、破損状況を計画的に把握するとともに、危機管理防災課において施設の保全に関する本計画の進行を図っていきます。

また、改訂に関しては、各施設の定期的な点検結果及び利用者の状況等に応じ見直しを行っていくほか、「千曲市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りつつ、国の動向等社会情勢の変化を把握しながら5年ごとに見直しを行います。更に工程表は、計画の実現性を高めるため、毎年度ローリングします。

毎年度の取組状況は、千曲市公共施設等総合管理計画推進本部において点検し、議会へ報告するとともにホームページ等で公表します。

千曲市公共施設個別施設計画 消防施設等編

令和3年3月策定（毎年度更新）

千曲市総務部財政課

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL 026-273-1111(代) FAX 026-273-1004

E-mail : zaiseika@city.chikuma.lg.jp

（本計画を策定した課・施設所管課）

千曲市総務部危機管理防災課